

豊かさが広がる
道がつながる

圏央道

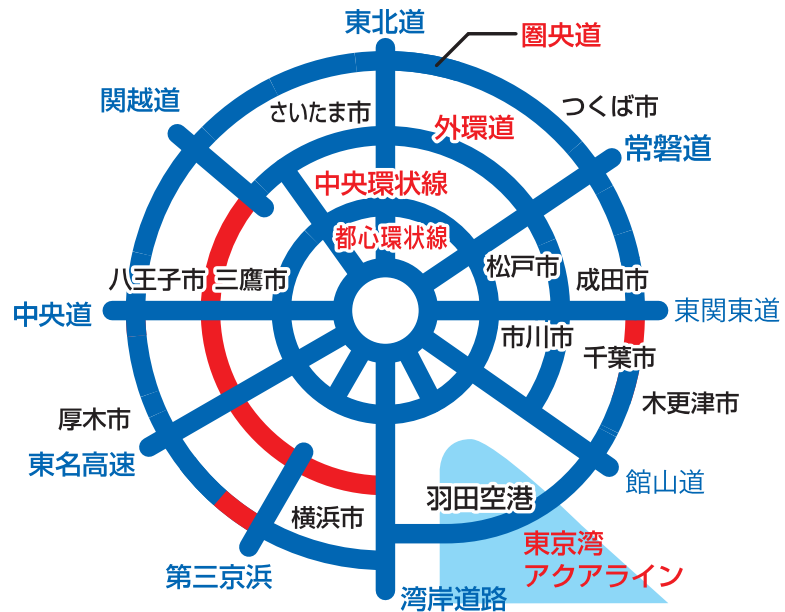
首都圏中央連絡自動車道
国道468号

圏央道とは

首都圏を変える道路「3環状」。

圏央道は、都心から約40～60kmの位置を環状に結ぶ延長約300kmの高規格幹線道路で、横浜、厚木、八王子、川越、つくば、成田、木更津などの都市を連絡し、東京湾アクアライン、東京外かく環状道路（外環道）など一体となって首都圏の広域的な幹線道路網を形成するとともに、首都圏の道路交通の円滑化、環境改善、沿線都市間の連絡強化、地域づくり支援、災害時の代替路としての機能など多くの役割を担う環状道路です。

■3環状9放射ネットワーク構想

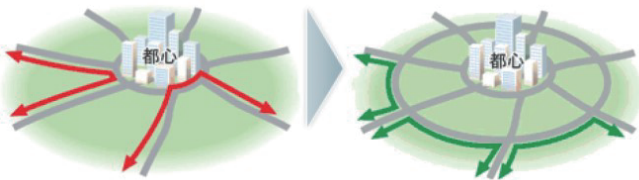


凡 例	
—	開通区間 (令和7年3月現在)
—	未開通区間

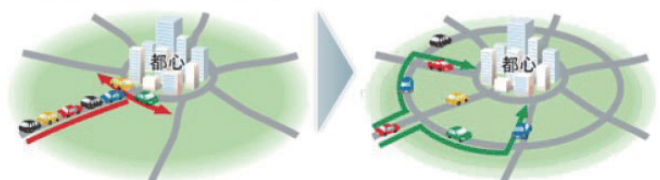
環状道路の機能

環状道路は、スムーズな交通を実現し、機能が低下した都市構造の再編を促していきます。環状道路には、都心部への流入抑制、交通分散、周辺地域間の移動、迂回路など多様な機能があります。人口や産業が集積する東京都市圏では、環状道路の整備を進めています。

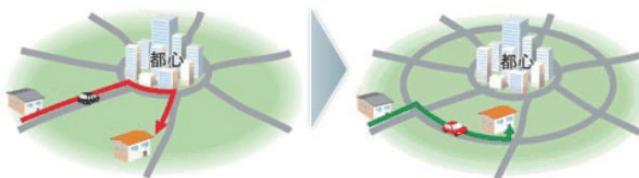
通過交通の都心部への流入を抑制



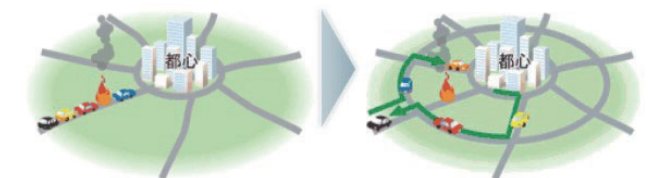
郊外から都心部への交通を分散導



周辺地域間での直接移動



災害や事故等による一部区間の不通にも速やかに移動



効果① 首都圏の環状ネットワークの整備に合わせて大型物流施設が続々と立地

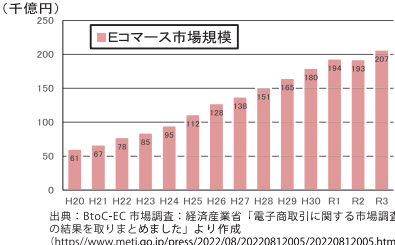
- Eコマースの市場規模が拡大するにつれ、高度な仕分け・荷捌き等の機能を有する大型マルチテナント型物流施設の立地が圏央道沿線で活性化（圏央道沿線の主な大型物流施設4社においては約4倍に増加（7件→27件））※Eコマース：インターネット技術を用いた商取引

Eコマースを支える大型マルチテナント型物流施設が、圏央道の沿線に続々と立地

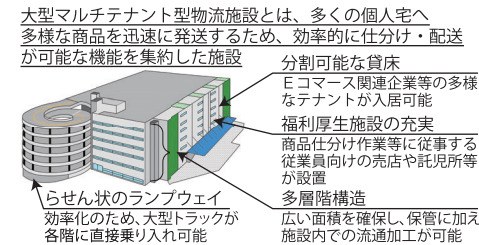
■大型マルチテナント型物流施設の立地状況の変遷※1



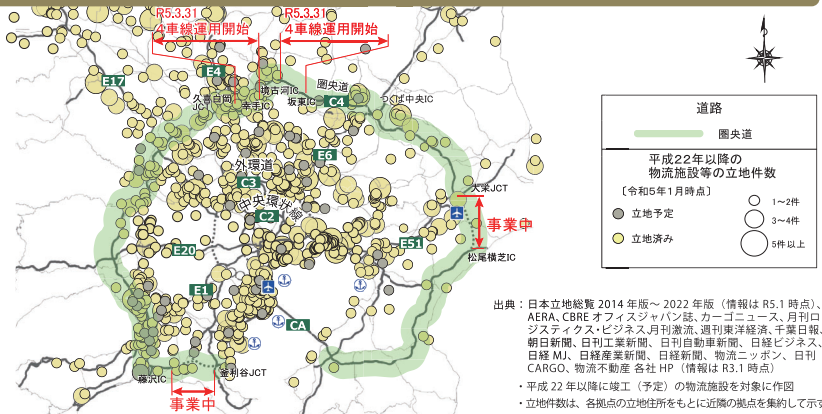
■Eコマース市場規模の推移



■Eコマースを支える大型マルチテナント型物流施設



平成22年以降の首都圏における大型物流施設の立地状況



※1 竣工済み施設と、立地予定施設を含む
※2 圏央道沿線:高速道路ネットワーク接続済み区間(海老名JCT~大塚JCT)沿線の37市町を対象。その他地域:1都4県より圏央道沿線地域を除いた値

効果② 成田空港へのアクセス性向上により、自動車・高速バスがより便利に

- 成田空港と群馬・栃木方面を結ぶ高速バスのうち、約7割が都心経由等から圏央道ルートに経路を変更
- 久喜白岡JCT~成田空港間の所要時間が約30分短縮し、定時性も向上（最長約113分→約86分）

空港発着バスや自家用車での成田空港の利便性が向上

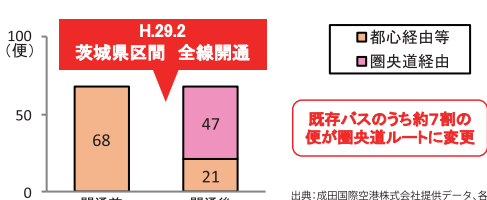


■空港発着バス事業者の声

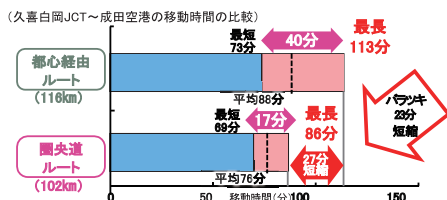
- ・都心経由から圏央道ルートに変更したことで、**定時性向上や移動時間の短縮**を実感しています。
- ・太田線・桐生線の利用者は、昨年に比べて**増加傾向**にあります。
- ・圏央道開通による成田空港へのアクセス向上が契機となり、境町からの要望により、11月1日から**境町(境古河バスターミナル)**への乗り入れを開始予定です。更なる利用者増加を期待しています。(関東自動車(株))
- ・インバウンドの国内需要の高まりから、伊香保まで**ルート延伸**を予定しています。圏央道が開通し、**成田空港へのアクセスが向上**したことも後押しとなりました。(圏越交通(株))

出典:平成29年9月ヒアリング調査

■圏央道ルートへの転換



■所要時間の短縮と定時性の向上



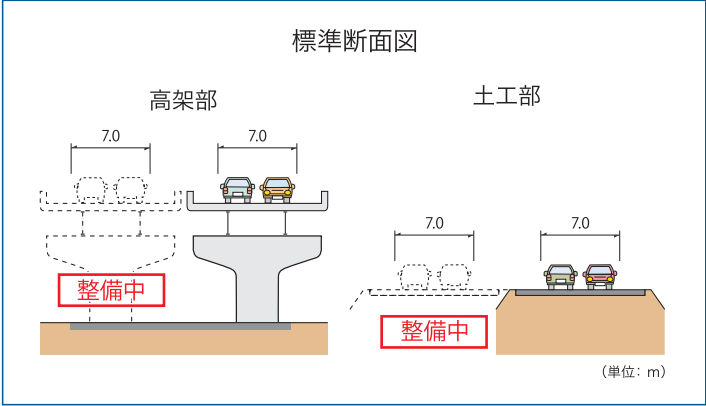
首都圏中央連絡自動車道（国道468号 圏央道）

計画・諸元

東北道以東

■ 4車線化区間

区間	埼玉県久喜市下早見地先(東北道) ～千葉県成田市吉岡字大安場地先 (東関東道)		
規格	第1種第2級	設計速度	100km/h



事業経緯

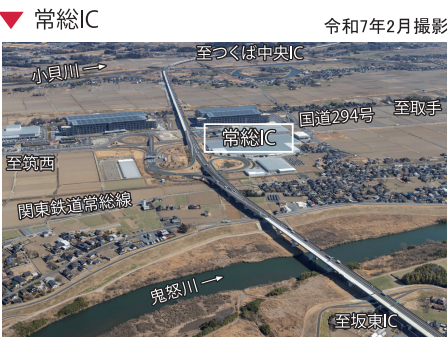
埼玉県内の事業の経緯

昭和60年度	都県境～関越道間が事業化
昭和61年 3月28日	都県境～国道254号の都市計画決定
平成 元年度	関越道～国道254号間が事業化
平成 元年 8月 8日	基本計画決定・整備計画決定(都県境～国道254号)
平成 2年11月 1日	基本計画決定(国道254号～埼玉・茨城県境)
平成 3年10月 1日	圏央鶴ヶ島ICの都市計画決定
平成 5年 4月 1日	国道468号に指定
平成 6年度	国道254号～埼玉・茨城県境間が事業化
平成 8年 3月26日	青梅IC～鶴ヶ島JCT間が開通
平成 8年 4月 5日	国道254号～埼玉・茨城県境の都市計画決定
平成 9年 2月 5日	整備計画決定(国道254号～埼玉・茨城県境)
平成10年 4月 7日	坂戸IC(仮称)の都市計画決定
平成20年 3月29日	鶴ヶ島JCT～川島IC間が開通
平成22年 3月28日	川島IC～桶川北本IC間が開通
平成23年 5月29日	白岡菖蒲IC～久喜白岡JCT間が開通
平成27年 3月29日	久喜白岡JCT～埼玉・茨城県境間が開通
平成27年10月31日	桶川北本IC～白岡菖蒲IC間が開通
令和 5年 3月31日	久喜白岡JCT～幸手IC間が4車線運用開始
令和 7年 3月14日	幸手IC～五霞IC間が4車線運用開始

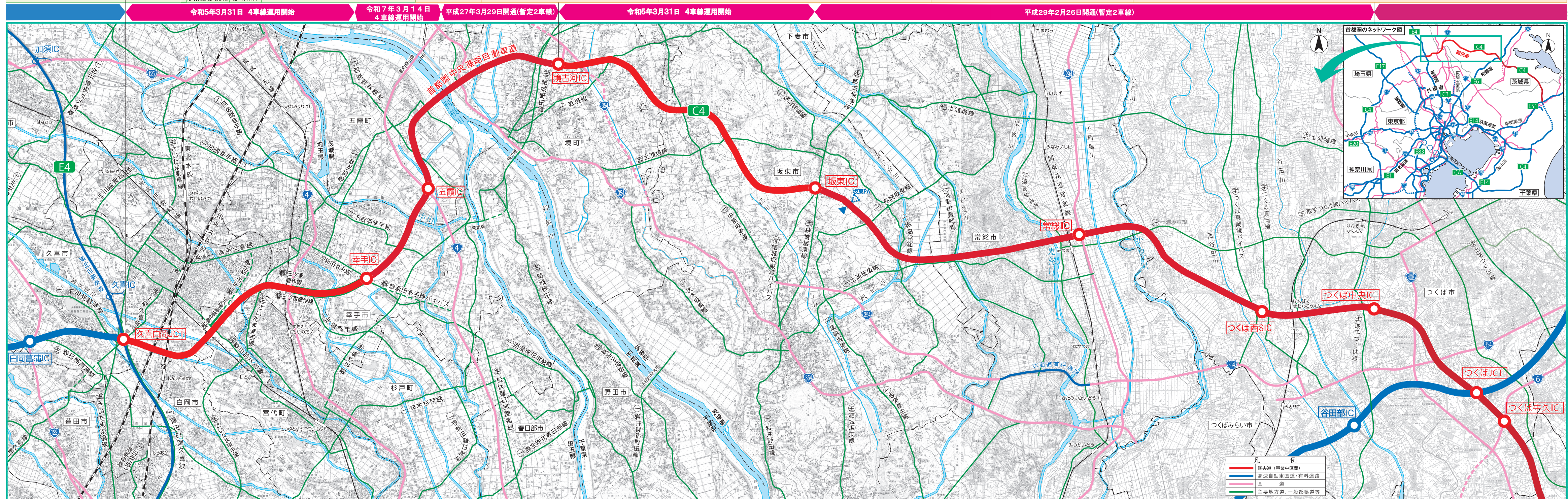
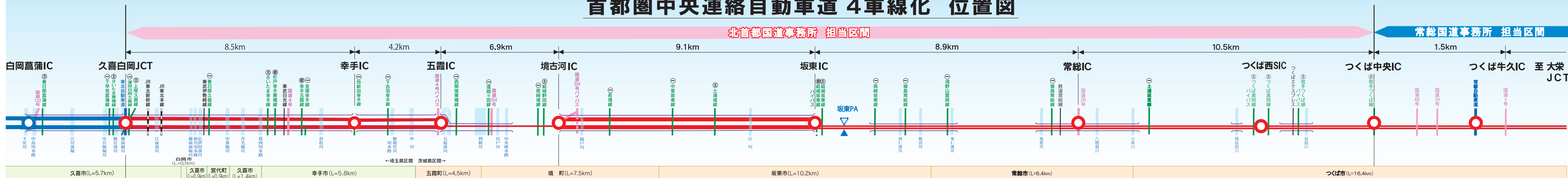
茨城県内の事業の経緯

平成 元年 8月 8日	基本計画決定(常磐道～茨城・千葉県境)
平成 2年11月 1日	基本計画決定(埼玉・茨城県境～常磐道)
平成 3～4年度	常磐道～茨城・千葉県境間が事業化
平成 6年 4月21日	都市計画決定(常磐道～茨城・千葉県境)
平成 6年度	埼玉・茨城県境～常磐道間が事業化
平成 7年 3月23日	都市計画決定(埼玉・茨城県境～常磐道)
平成 9年 2月 5日	整備計画決定(茨城県内)
平成15年 3月29日	つくばJCT～つくば牛久IC間が開通
平成19年 3月10日	つくば牛久IC～阿見東IC間が開通
平成21年 3月21日	阿見東IC～稲敷IC間が開通
平成22年 4月24日	つくば中央IC～つくばJCT間が開通
平成27年 3月29日	埼玉・茨城県境～境古河IC間が開通
平成29年 2月26日	境古河IC～つくば中央IC間が開通
令和 5年 3月31日	境古河IC～坂東IC間が4車線運用開始
令和 7年 3月14日	幸手IC～五霞IC間が4車線運用開始

現況写真



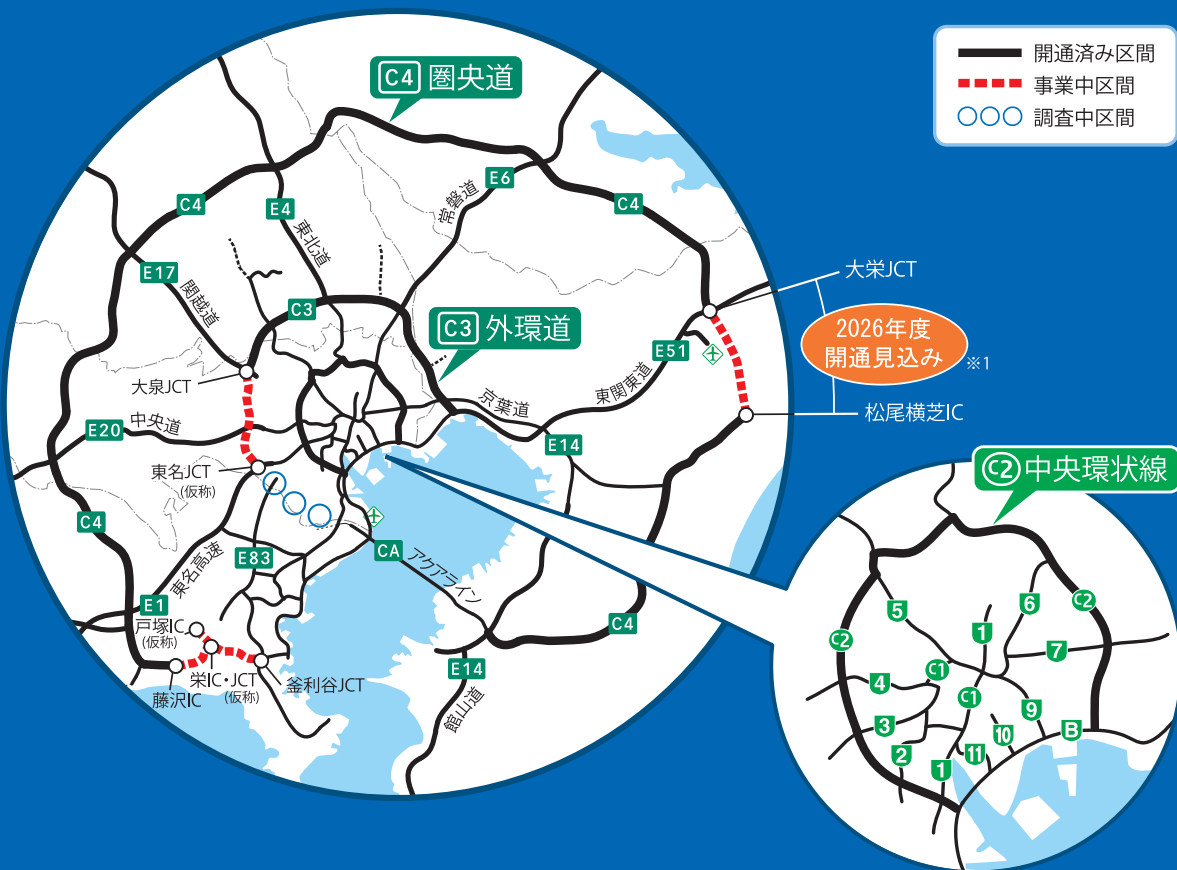
首都圏中央連絡自動車道 4車線化 位置図



測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R1JHf 1357
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

令和7年3月現在

首都圏を変える道路、「3環状」。 その開通はいつ頃か、お知らせします。



3環状

検索

※ 2025年1月時点

※1 大泉JCT～多古IC間は1年程度前倒しでの開通を目指す

圏央道の事業に関するお問合せは・・・



国土交通省 関東地方整備局
北首都国道事務所

〒340-0044埼玉県草加市花栗3丁目24番15号
TEL. 048 (942) 4041
<https://www.ktr.mlit.go.jp/kitasyuto/>



東武スカイツリーライン「獨協大学前駅」西口より
朝日バス「新田駅東口」または「原町三丁目」行きにて
「松原四丁目」下車 徒歩5分

圏央道の工事に関するお問合せは・・・



国土交通省 関東地方整備局
北首都国道事務所

杉戸国道出張所
〒345-0036埼玉県北葛飾郡杉戸町杉戸2375-1
TEL. 0480 (32) 3125



東武伊勢崎線「東武動物公園駅」下車 徒歩20分



このパンフレットは再生紙及び植物油インキを使用しています